

日々の研究に加え学外での 豊富な実習体験などを通して心理職が 活躍できるフィールドの広さを実感しています

学部生の頃から続けているNPO団体でのSNS相談員の実務経験から、支援側のメンタルヘルスに関心を持ちました。大学院進学の際は、この経験と学部での学びをさらに深めた心理臨床の専門的なスキルを身につけたいと考えたからです。また、公認心理師・臨床心理士の双方の資格を取得できる環境も大きな決め手でした。現在は、非対面・テキストベースの対話が相談員に与える特有のストレスや、それを乗り越えるプロセスを研究しています。研究室では高度な統計ソフトを扱えるなど、研究と臨床を両立する環境が整っています。教員や院生と密接に関われる少人数教育は、大学院の特徴であり、魅力です。発言しやすい環境の中で専門性を深めることができ、困った時は頼れる温かさもあります。



國場 万智さん

心理学専攻博士前期課程1年
文学部人文社会学科心理学専攻 出身
